

粉から発生する虫

東洋産業だより

Vol. 183
2019年4月号

	成虫	終齢幼虫
タバコシバンムシ	 ・約2.5mm ・丸いシルエット ・背中中に細かい毛	 ・約4mm ・身体は黄白色
コクヌストモドキ	 ・3-4mm ・細長く寸胴	 ・6-7mm ・尾部に2つの突起 ・表面に細かい毛
ノコギリヒラタムシ	 ・約3mm ・細長くくびれがある ・胸部にのこぎり状の突起がある	 ・3-4mm ・やや光沢がある

気候が暖かくなり、虫の活動が活発になる季節となりました。今年も防虫対策の準備はお済みでしょうか。
例えば食品原料となる粉を取り扱う工場では、粉残渣などから発生する代表的な害虫であるタバコシバンムシ、コクヌストモドキ、ノコギリヒラタムシなどが動き出す時期です。これらの虫は図1に示すような形態をしています。工場で見かけてしまった場合、特に幼虫を見つけた際は、工場内で発生している証拠となります。特にタバコシバンムシ

シの幼虫には、殺虫剤に頼るよりも発生源に対する日常的な清掃の方が効果的であるため、発生予防のためにも、定期的な清掃（タバコシバンムシだと月一回程度）を心がけましょう。また、虫はわずかな隙間でも入り込むことがあり、原料などの粉の入った紙袋内に虫が入り込むと、1か月程度でも図2のように大量に発生してしまう可能性があります。特に一度開封した状態のものは、開封口をしっかりと閉じて、ゴミや虫が混入しないようにすることが大切です。弊社では、そういった開封済

図1 粉残渣から発生する代表的な虫の形態的な特徴

しっかり閉まる
ステンレス・ファスナー-SUS304

開口部を安定して閉める事ができます。
対象物や部番名等の「電解マーキング」可能です。



みの原料の袋をしっかりとしめる、ステンレス製の「袋止めファスナー」の取り扱いを始めました。腐食や破損が起きにくいステンレス製で、紙袋を手軽にしっかりと閉じることのできる商品になります。ご興味がありましたら、お気軽に弊社までお問い合わせください。



図2 粉の入った紙袋に発生したコクヌストモドキ

今月の豆知識：元号はどうして決まる？

いよいよ平成最後の月となりました。新しい元号が公布され、混乱している人も多いことと思います。この元号は一体どのようにして決まるのでしょうか？

明治から一せ一元（天皇一代につき一元号）が定められましたが、明治以前の元号では、占いや天変地異など、大きな吉事凶事によって元号を変えたこともありましたが、現在では、元号は政令で定められているだけで、具体的な決め方は定められていません。現在の「平成」は、漢文学や国文学の有識者が候補を考案、そこから内閣官房長官が選定、国民の代表として衆参両院議長の意見を聞き、閣議で決定したようです。また、他に「修文」「正化」などの候補がありましたが、「イニシャルが明治（M）、大正（T）、昭和（S）と被らない方が良い」とのことで平成になったともいわれています。

5月から元号が「令和」に変わります。我が国の特有の文化のひとつとして、親しみを持って使っていきたいですね。



東洋産業株式会社

本社 岡山市北区新屋敷町3-19-20

TEL 086-2241-8080

FAX 086-2241-8094
大阪・姫路・岡山・倉敷・福山・広島
高松・松山・金沢

www.to-yo-s.co.jp

(バックナンバー掲載中)